チャイルドラインを「あなた」に「つたえる」情報誌

# With You

第69号 2021年 冬

認定特定非営利活動法人
よこはまチャイルドライン
Tel 045-342-0255 Fax 045-342-0288
http://www.yokohama-childline.com

## 子どもはコロナをどうとらえたか

新型コロナが日本に上陸して1年。世界中を混乱に陥れ、歴史的にもまれにみるたいへんな2020年でした。おとなも右往左往しましたが、学校が突然休校になった子どもたちも生活の変容があり、子どもなりの苦労や思いもあったはずなのに、どういうわけか子どもの声があまり聞こえてきませんでした。

そこで、子どもたちにコロナに関するアンケートを行ったところ、2500人を超える子どもたちの協力を得ることができました。アンケートから、子どもたちの思いを汲み取り、これからの参考にしてゆけたらと思います。

おとなと子どもはともに生きるパートナーなのですから。

with you 2021.01.indd 1 21.2.2 0:31:02 PM

## 【新型コロナウィルスをどう思いましたか？】

結果は、『**こわい**』が約48パーセント、『**少しこわい**』の約33パーセントを加えると、8割以上の子どもたちが新型コロナに対して恐怖を感じていることがわかりました。

その理由は、「感染してしまうかもしれない」「感染させてしまうかもしれない」「まだ薬がない」「かかったら大変、苦しそう」「家族がかかったら生活が一変する」など、**感染そのものに対する不安**、「死者が出ている」「自分や家族が死んでしまうかもしれない」「有名人が亡くなった」など、**死に対する不安**、が多くを占めました。

なかには、「コロナに感染したら、差別される」「学校でいじめられる」など、コロナそのものへの不安より、ひとの対応が気になる子どもも一定数いました。

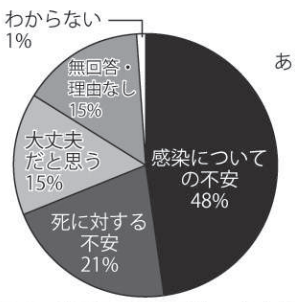
一方で、『**あまりこわくない**』『**こわくない**』と答えた約15パーセントの子どもたちは、「自分や身近なひとが感染していない」「子どもは重症化しにくい」「感染対策をしているから平気」「(コロナに)慣れた」と答えました。

『**わからない**』の約4パーセントの子どもたちのなかには、「未知の経験をしているから」「こわい、こわくないという気持ちでは表せない」「こわいけどこわくない、両方」と答えた子もいました。

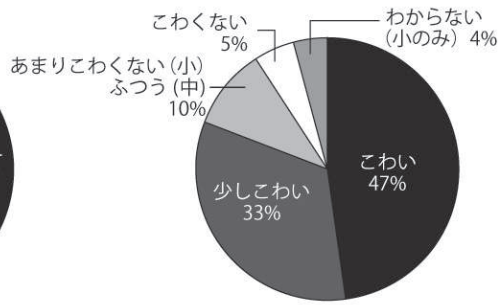
《《《 **新型コロナウイルスに関するアンケート** 》》》　回答者数 2574 名

| Q1-1:　新型コロナウイルスをどう思いましたか | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 小学生 | こわい | 1129 | 中学生 | こわい | 86 |
| | 少しこわい | 773 | | 少しこわい | 89 |
| | あまりこわくない | 221 | | ふつう | 45 |
| | こわくない | 121 | | こわくない | 11 |
| | わからない | 99 | ※質問項目の違いにより別集計 | | |

| Q1-2:　どうしてそう思いますか | | | |
|---|---|---|---|
| 感染そのものに対する不安 | 1371 | 死に対する不安 | 602 |
| 大丈夫だと思う | 434 | わからない | 32 |
| 無回答（理由はないなど） | 418 | ※小中合わせて集計、一部が複数回答 | |



【Q1-2: どうしてそう思いますか】



【Q1-1: 新型コロナウイルスをどう思いましたか】

## 休校ははじめはうれしかったけど、やっぱりさみしかった

次に、2月27日突然発表された一斉休校についてです。

**【どんな気持ちになりましたか？】**

「はじめはヤッターという気持ちだった。でも、だんだん友だちにも会えなくなって、つまらなくなった」。多くの子どもたちの休校に対する感想です。

「**さみしかった**」「**かなしかった**」「**残念だった**」「**つまらない、暇だった**」「**こわかった**」「**つらかった**」など休校を悲しむ声が多かった一方で、「**うれしかった**」「**楽しかった**」「**よかった**」など、休校を喜んでいた子どもたちも数多くいました。

もっとも多かった答えは、「**学校が早く始まってほしい**」で、約22パーセントもの子どもたちが「早く友だちに会いたい」「早く学校に行きたい」と答えました。

そのほか、「これからどうなるのか」「いつまで続くのか」など、休校に不安を感じたり心配したりする子どもたちもいました。

**【休校中はどのように過ごしましたか？】**

「**勉強をした**」と答えた子どもたちがダントツでした。学校から



with you 2021.01.indd 2　21.2.2 0:31:02 PM

| Q2-1: 3月からコロナで学校がおやすみになりましたが、どんな気持ちになりましたか。 | | | |
|---|---|---|---|
| 学校が早く始まってほしい | 730 | うれしかった | 439 |
| つまらない・暇・退屈 | 349 | さみしかった | 304 |
| 不安・心配だった | 290 | 勉強についての不安 | 219 |
| かなしかった | 162 | 楽しかった | 142 |
| こわかった | 123 | 残念だった | 70 |
| 嫌、最悪 | 62 | よかった・楽だった | 58 |
| つらかった | 57 | 特に何も思わない | 57 |
| コロナのことを考えた | 52 | 驚いた | 39 |
| 仕方がない | 38 | ストレスがたまった・イライラした | 26 |
| 複雑な気持ち | 21 | その他 | 27 |
| **Q2-2：また、休校中はどのように過ごしましたか。** | | | |
| 勉強をした | 846 | ゲームをした | 563 |
| 家で好きなことをした | 493 | 体を動かした | 308 |
| 特に何もしていない | 221 | SNS や YouTube を利用した | 75 |
| 生活が乱れないよう気をつけた | 68 | 家族と遊んだ・家の手伝いをした | 55 |
| 学童・校庭開放を利用 | 16 | 友達と遊んだ | 13 |
| その他 | 4 | | |

※自由記述、複数回答

の課題もあったのでしょうけれど、子どもたちは休校中もしっかり机に向かっていたようです。次に多かった答えは「**ゲームをした**」でした。さらには「**家で好きなことをした**」「**体を動かした**」「**とくに何もしていない**（寝ていた、ダラダラしていたなど）」「**SNSやユーチューブを利用した**」「**生活が乱れないよう気をつけた**」「**家族と遊んだ・家の手伝いをした**」と続きます。

## いちばん困ったことは「勉強」です

【休校中に困ったことは何でしたか？】

やはり、いちばん困ったことは「**勉強**」だったようです。内容は、「勉強が思うようにできない」「勉強がわからない」「わからないところを人に聞けない」「休校明けの授業のスピードについてゆけない」「宿題が多かった」などです。

2番目は、「**友だちに会えないこと**」、そして僅差で「**外出できないこと**」が続きます。ステイホームで外出もままならず、「買い物に行けない」「外で遊べない」「好きなところに行けない」など、おとなと同じような気持ちでいたようです。

そして、「**マスク**」にも困りました。「マスクは苦しい」「表情や言葉がわかりづらい」「暑くて困った」など、毎日マスクをつけなければならなくなった生活に戸惑いを感じていたようです。

さらには、学校の行事やイベント、旅行の中止、習い事や塾のお休みなど「**予定がなくなったこと**」。運動不足や夜更かし、ゲーム漬けなど「**生活リズムの乱れ**」、普段通りのことができない、習慣が変わったなどの「**環境の変化**」、ソーシャルディスタンスや消毒などの「**感染対策**」、好きなことをしても満たされない、感染がこわいなどの「**こころの不安**」、体調不良、ストレス、イライラするなど「**体に影響が出た**」などの答えが目立つ一方で、困ったことは「**ない**」と答えた子どもたちもいました。

気になるのは、親子の関係です。「親がイラついていて困る」「両親がケンカばかり」「リモートワークで親が家にずっといて、普段言われないことを言われていやだっ

| Q3: 4月から8月までの間でいちばん困ったことはなんですか | | | |
|---|---|---|---|
| 勉強 | 518 | 友達に会えない | 471 |
| 外出できない | 414 | ない・無回答 | 351 |
| マスク | 302 | 予定がなくなった | 177 |
| 生活リズムの乱れ | 161 | やることがない | 115 |
| 学校がない | 105 | 日常・習慣・環境の変化 | 99 |
| 感染対策（マスク以外） | 76 | こころの不安 | 69 |
| 体に影響が出た | 52 | 友達関係 | 41 |
| 祖父母や親類に会えない | 26 | 親のこと | 24 |
| きょうだい関係 | 19 | 感染者がいる | 19 |
| 給食・食事 | 18 | その他 | 21 |

※自由記述、複数回答



with you 2021.01.indd 3 21.2.2 0:31:03 PM

| Q4: 4月から8月までの間でいちばんうれしかったことはなんですか | | | |
|---|---|---|---|
| 友達と会えた | 581 | ない・無回答 | 367 |
| 学校に行けた | 315 | 好きなように過ごせた | 304 |
| ゲームをした | 289 | 家族や親類と過ごせた | 218 |
| 学校や塾がなかった | 176 | ゆっくりできた | 115 |
| 休校中に頑張った成果があった | 92 | 外出できるようになった | 86 |
| 誕生日があった | 69 | 周りとつながれていた | 65 |
| 新しい出会いがあった | 64 | 健康だった | 59 |
| 行事・イベントがあった | 54 | 旅行をした | 33 |
| 環境や習慣の変化 | 11 | その他 | 33 |

※自由記述、複数回答

がたくさんいて、あらためて学校が子どもたちにとって、とても大切な場所であることを再確認しました。

「**好きなように過ごせた**」「**家族や親類と過ごせた**」などの答えも目立ちました。さらには、「**ゲームができた**」「**学校や塾がなかった**」「**休校中に頑張ったことで、成績や習い事などに成果がでた**」「**新しい出会いがあった**」「**自分や家族の誕生日**」「**ゆっくりできた**」「**健康だった**」などの答えが続きます。

## 子どもたちは不安でいっぱいです

【そのほか、コロナのことで言いたいことがありますか？】

「**コロナがなくなるといい**」がもっとも多い答えで、「早く収まってほしい」「早く薬ができるといい」などでした。つづいて、「マスクなしで出歩いているひとが多い」「GOTOをやめてほしい」「国や県の対策に不満」「おとなの行動に疑問や不満がある」など、「**社会に対する不安**」です。そして、「**いつもの生活に戻りたい**」。内容は、「新しい生活が不便」「感染対策がたいへん」など。

さらには、「**コロナがこわい**」「**今後の不安**」「**学校での不安**」など、総じて子どもたちのこころは〝不安でいっぱい〟ということがわかりました。

ただ、救いもあります。「学校があったほうがいい」「学校の良さに気づいた」など、子どもたちみずから学校の良さを再確認していることです。「みんなとグループで話しながら給食を食べたい」「黙って食べるとつまらない」など、当たり前のように和気あいあいと食べていた給食を見直す子どもたちもいました。

以下、子どもたちの声です。

「コロナ、ふざけんなー、こっちは6年になってやらなきゃならないことがたくさんあるんだよ。いろんな人とも会えないし、迷惑してんだよ。めちゃくちゃ住みにくくなった。大変なんだよ。てめえらコロナのせいで、たくさんの人が死んでるんだよ。少しは反省しろ。おらー、人生ってのは、そうあまくないんだよ。わかったか（ふぅー、言うこと言って、すっきりした）」（小6男）

「おとなはコロナにかかったひとを差別している。病気になったら、なぐさめてあげるのが普通なのに、差別はやめてほしい」（小6女）

「医療従事者のみなさんに感謝している」（多数）

| Q5: そのほかコロナのことで、言いたいことがありますか | | | |
|---|---|---|---|
| コロナがなくなるといい | 487 | 社会への不安 | 112 |
| コロナがこわい | 94 | いつもの生活にもどりたい | 91 |
| 今後の不安 | 46 | 学校行事をやってほしかった | 29 |
| 学校での不安 | 26 | 学校が休みでよかった | 21 |
| コロナのことについて考えている | 12 | 学校がたのしい | 10 |
| 医療従事者に感謝 | 5 | その他 | 6 |

※自由記述、任意回答

「親は医療従事者、ずっとひとりで家にいた」と、一緒にいることでつらい子もいれば、一緒にいられなくてつらい子もいました。「兄弟げんかがふえた」「下の子の面倒をみている」など兄弟姉妹について答えた子もいました。

【うれしかったことは何でしたか？】

「**友だちと会えたこと**」「**学校に行けたこと**」と答えた子どもたち



with you 2021.01.indd 4 21.2.2 0:31:03 PM

「政府の人間は経済を優先して、コロナへの対策が足りなさすぎる。『国民のために働く内閣』とは、どういう意味なんだ」（小６女）

「おとなは夜遅くまでお酒を飲んでわいわいしているけれど、いちばん対策をしているのは子どもだと思う」（小６女）

「感染者が増えて、また休校になったり、行事が中止になるのはいや。いろいろ決まりが増えて大変。なんか、もうつらい」（小５女）

「全員マスクしていて、目だけしか見えないから、にらまれているみたいでこわい」（小２男）

「手洗いを何度もしないと気がすまない。洗っても洗ってもきれいになったと思えない」（小４男）

「こわいけど、こわがって泣いて終わることではないから、予防して終わらせる。そして、笑顔でまた普通の日々に戻る」（中２女）

「コロナは世界を変えてしまっているので、世界をどう変えられるのか、どんなプランがあるのか見てみたい」（中１男）

「分散登校のときはクラスが少人数になったからがんばって行けたけど、ふつうに戻ったらまた行けなくなった。やっと行けるようになったと思ったのに、またもやもやしている」（小３女）

「チャイルドライン、ぼくたちの声を聴いてくれてありがとう。これからもがんばってほしい」（小５、６男女）

## 子どもを支えていきたい

最後に、このアンケートにご協力いただいたおふたりの先生にお話をうかがいました。

横浜市立保土ケ谷小学校の小川克之校長先生のお話です。

「まず言いたいことは、子どもたちはよく頑張っているということです。ソーシャルディスタンス、手洗いや換気の徹底、マスクの着用など、ニューノーマルが突然入ってきて慣れないことも多かったのに、一生懸命守っています。それなのに、また感染者が増えてきて、厳しい状況になってきました。

じつは、子どもたちが楽しみにしていた昨年春の６年生の修学旅行は延び延びになっていて、やっと２月に実施できるようになったのに、再びの緊急事態宣言です。行けるかどうかわかりません。子どもたちは生活のルールをしっかり守っているのに、どうしてこうなるのか。

今年に限っては、いろんな活動が制限されて、苦しいところです。子どもにとっては修学旅行は１回きり、できることなら実現したい。子どもの置かれた状況をひとりでも多くのおとなに知っていただき、考えてほしいと思います」

また、厚木市立依知南小学校の外村美佳校長先生は、次のように話します。

「身近で子どもたちを見て思うのは、感染への不安やつらさを抱えながらも、一生懸命、感染予防の約束を守って学習していることです。子どもは素直で健気です。

でも、子どもはおとなをよく見ています。『おとなは差別している。病気にかかったらなぐさめてあげるのが普通なのに、差別はやめてほしい』という子どもの声に胸を突かれます。今はおとなにとっても苦しい時ではありますが、やはりおとなは、子どもたちを不安から守るべき立場にあるはずで、子どもたちの模範にもなる存在です。

子どもたちのいろいろな不安を受けとめてあげながら、あきらめないで、コロナ禍を乗り越えていこうとする子どもたちを支えていきたいと思います」

このアンケートに協力してくれた、横浜市保土ケ谷区の小学校、厚木市の小中学校のみなさん、足柄上郡、逗子市、横浜きた親子劇場、横浜市中区・都筑区の塾の子どもたち、本当にありがとうございました。

また、お忙しいのに子どもたちへのアシストをしていただいた、教育委員会や各学校の先生方、こころよりお礼申し上げます。

これからも、協力して住みやすい社会をつくってゆきましょう。



with you 2021.01.indd 5 21.2.2 0:31:04 PM

# 子ども支援者養成講座2020が終了しました

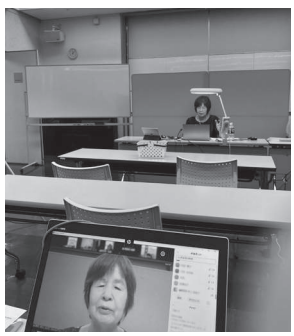
コロナ禍による開催が危ぶまれる中、12月5日に全13回すべての講座を終えることができました。

前期講座はZoomによるオンライン配信を行いましたが、後期は受講者の方々にご協力を仰ぎ、入室前の検温、手指消毒を徹底など、感染防止の対策を講じ会場で実施しました。

マスクを着け、ソーシャルディスタンスを保った会場内での受講には、いつも以上の大変さがあったかと思いますが、皆さん熱心に最後まで受講されていました。

会場を提供していただいた（公財）よこはまユースの方々には、前期講座のオンライン配信の際に、モニターやマイクの設置などで多大なご協力をいただきました。

後期講座開催においては感染対策への細かなご配慮のおかげで、私たちも安心して受講者の方々をお迎えすることができました。改めて感謝申し上げます。



▶オンライン講義を行なう徳丸代表。初めての試みでしたが、無事開催できました。

# 認定・指定ゆるネットに よこはまチャイルドラインが登録されています

この度、認定・指定NPO法人の支援のためにつくられた、神奈川県の「認定（特例認定）・指定NPO法人のゆるやかなネットワーク（通称：認定・指定ゆるネット）」によこはまチャイルドラインが登録されました。情報交換と学びの場を提供していただきながら、SNSなどを通じて多くの方々に私たちの活動を知っていただける機会が増えていくことを期待しています。

昨年12月12日～12月28日、かながわ県民センターにて、神奈川県NPO法人の活動紹介の展示ブース内でポスターを展示していただきました。

神奈川県NPO協働推進課公式キャラクターのかにゃおくんも、Twitter や Facebook で紹介してくれています。こちらも是非、いいね！やフォローをお願いします。

©2014神奈川県 かにやお



with you 2021.01.indd 6 21.2.2 0:31:06 PM

# はい、チャイルドラインです。

## 「電話かけてくれてありがとう」

秋から冬にかけて展開を楽しみにしているドラマがありました。

ＳＮＳで知り合った２人はＳＮＳの中では会話が弾むのに、実際に会うことになったら全く思ったことが話せない。２人でいる時間を共有し、お互いを知ることで、ＳＮＳでの繋がり以上に心を重ねていくという話でした。

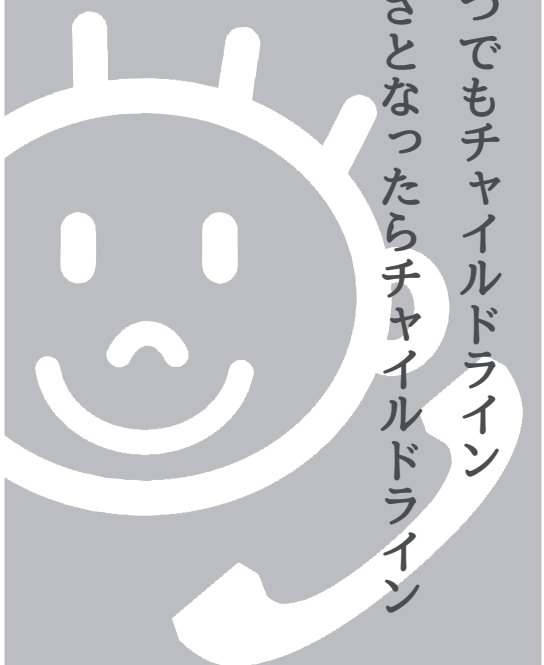
ふとチャイルドラインに電話をかけてくれる子ども達のことが頭に浮かびました。ＳＮＳで繋がれるツールがたくさんある中、電話で話すことを選択してくれたことには大きな意味があるのだと。

無言ですぐに切れてしまう電話もその積み重ねが必要な子ども達がいるということを思いながら２０２１年を迎えました。

## よこはまチャイルドライン 電話利用状況

### 2020年9月〜11月

| 主訴 | 9月 | 10月 | 11月 |
|---|---|---|---|
| 学校 フリースクール | 30 | 19 | 34 |
| 部活 | 1 | 1 | 2 |
| 性 | 22 | 14 | 8 |
| 家庭 | 23 | 9 | 10 |
| 職場 | 0 | 2 | 1 |
| ネット トラブル | 0 | 1 | 1 |
| 地域 | 1 | 1 | 1 |
| 自分 | 49 | 41 | 67 |
| 不明 | 256 | 153 | 119 |
| 累　計 （会話成立率） | 382 （33%） | 241 （37%） | 243 （51%） |



いつでもチャイルドライン
いざとなったらチャイルドライン

## RECOMMEND

By. 猫のみみ

### Book FACTFULNESS（ファクトフルネス）

**著／ハンス・ロスリング　他**

この本には、思いこみを乗り越えてデータを基に世界を正しくみることの大切さが書かれている。

今はコロナ禍で世界中が危機的な状況にはなっているが、以前の私の中にも「世界はどんどん悪くなっている」という思いこみがあった。

しかし、実際には貧困の中で暮らす人は、20年前は、29%だったが、今は9%まで下がったし、世界の平均寿命は、30歳から72歳になった。

本当は「世界は徐々に良くなっている」ということなのだ。思いこみを乗りこえて、謙虚さと好奇心を持って生きよう！

### Movie ニューヨーク 眺めのいい部屋売ります

**監督／リチャード・ロンクレイン**
**主演／モーガン・フリーマン**

若い頃は、アパートの５階に住んでいても、日々の生活に支障はなかったが、年を重ねると５階までの階段の登り下りはヒザに大きな負担がかかり辛くなってくるものだ。人間だけでなく、年をとった犬にとっても散歩は苦痛になる。こんな時は、つい楽な方を選択しがちになるが、40年住んだ家にはいろいろな思い出がつまっている。

そんな思い出にひたるうちに、今の幸せに気づいていく。誰もが手離そうと思った時に大切なものに気づくものですね。

WITH YOU 第69号 令和3年2月発行

## ご支援ありがとうございます

よこはまチャイルドラインの活動は、多くの方のご支援で成り立っています。
子ども達からのフリーダイヤルの費用など、これからも皆さまからのご寄付が必要です。
どうぞ応援よろしくお願いいたします。

2020年9月17日～2020年12月15日のご支援総額　163,000円

# あなたにもできる社会貢献

## ●会員募集●

| | | | |
|---|---|---|---|
| 個人 | 正会員 | 3,000円／1口 | 総会の議決権あり |
| | 賛助会員 | 3,000円／1口 | ー |
| 法人 | 正会員 | 10,000円／1口 | 総会の議決権あり |
| | 賛助会員 | 10,000円／1口 | ー |

お忘れなく！

**よこはまチャイルドライン賛助会員の年会費は、「寄付金」になります**

※正会員費は控除対象外です

年会費は何口でも歓迎!
ご入金は郵便局の払込票をご利用ください
※匿名希望の方は、その旨払込票にお書き添えください

口座番号　**00270-6-13812**
口座名　**NPO法人 よこはまチャイルドライン**
ゆうちょ銀行　当座　〇二九店13812

## よこはまチャイルドラインに寄付すると「寄付金控除」が受けられます

横浜市の認定NPO法人であるよこはまチャイルドラインへの寄付は、「寄付金控除(税額控除)」の対象となり、確定申告をすることで税制上の優遇措置が講じられます。

**所得税**
**【寄付金の合計額 -2000円】× 40%が税額控除されます。**
※所得税額の25%が上限です

**住民税**
**横浜市在住の方は【寄付金の合計額 -2000円】× 10%が税額控除されます。**※お住まいの自治体によって異なります

**相続税**
**相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄附した場合、寄附をした財産には相続税が課税されません**

**法人税**
**法人による寄付は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、損金算入することができます。**

詳細な手続きについては、最寄りの税務署にお問い合わせください

## ●未使用切手､書き損じハガキはありませんか？●

一年を通じ、神奈川県内の小中高生一人ひとりへチャイルドラインカードを配布しています。その数、実に100万枚。未使用の切手や書き損じのハガキはその配送代に充てることができます。封書に入れ、下記の宛先まで郵送してください。未使用のテレホンカードも大歓迎です。ご協力お願いいたします。

**〒240-0002　横浜市保土ヶ谷区宮田町1-70-16　よこはまチャイルドライン事務局宛**

**編集後記**

昨年4月から自粛しながらなんとかチャイルドラインの活動をつづけている。そんななか、今回の子どもたちへのアンケートを試みた。意外にも冷静にコロナの社会やおとな達を見ている子どもたちの姿が印象的だった。マスク必須で気軽に雑談もしにくい世の中だからこそ、チャイルドラインでモヤモヤした気持ちを話してもらいたい。

この情報誌は「NHK歳末たすけあい」の配分金により作成しています
印刷：(株)港北スピード印刷製本
©Yokohama Child Line 2021

発行　NPO法人 よこはまチャイルドライン
Tel 045-342-0255
Fax 045-342-0288
http://www.yokohama-childline.com

with you 2021.01.indd 8　21.2.2 0:31:08 PM